

調査等事項報告（団体名： 会派 改革クラブ ）

視察（研修）先	東京都豊島区 伊藤ビル（アットビジネスセンター池袋駅前別館）
視察（研修）日時	令和5年2月13日（月） 10時～17時まで
視察（研修）項目	「議員定数・議員報酬をどのように決定すべきか」 ○10：00～13：00 適正な議員定数の決定方法を考える ○14：00～17：00 適正な議員報酬の決定方法を考える
視察（研修）者	結城 正、菊池貞好、犬飼 司、阿部正任
内 容	<p>（株）地方議会総合研究所代表取締役（元全国市議会議長会法制参事）廣瀬和彦講師の適正な議員定数、適正な議員報酬の決定方法を考えるテーマで研修会が開催され受講してきた。</p> <p>受講者は、全国の議会より35名の参加者でした。日本各地の自治体の議員定数・議員報酬を事例にあげ、議員定数については6項目の算定方式、議員報酬については7項目の算定基準方式について話された。</p> <p>議員定数に関しては一つの方式として、常任委員会数方式があるが、現在本市の常任委員会は2つである。一つの委員会の討議人数は7人から8人が適当とされるので、本市はほぼ適切な定数配置であると思われる。</p> <p>議員報酬に関しては、様々な算定方式があるが、総体的に議員の報酬は低いと思われるし、なり手不足、特に若い人の政治参加を促すために、自治体ごとにこれから考えていかなければならない問題と考える。</p>